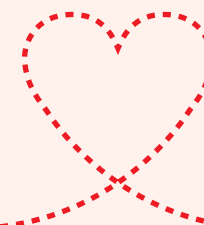


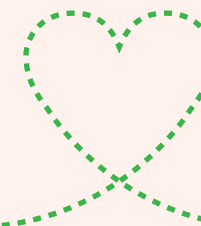
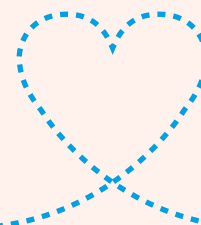


ナチュラリープラス®



ナチュラリープラスのきもち、みんなの笑顔

社会貢献活動レポート2010



株式会社 ナチュラリープラス

〒106-6035 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー35F
TEL 03-6230-3311 FAX 03-6230-3011 URL <http://www.naturally-plus.co.jp/>



“笑顔”あふれる社会を目指して

“笑顔”あふれる社会のために、 ナチュラルプラスができること

ナチュラルプラスは、自然の恵みを活かした健康食品、ビューティケア製品をご愛顧いただく会員の皆さまの“輪”によって支えられている企業です。その“輪”を通して多くの方々の健康と美をサポートしています。100年後も輝く毎日でありますように——たくさんの素敵な笑顔がひとつでも増える社会の実現を目指しています。

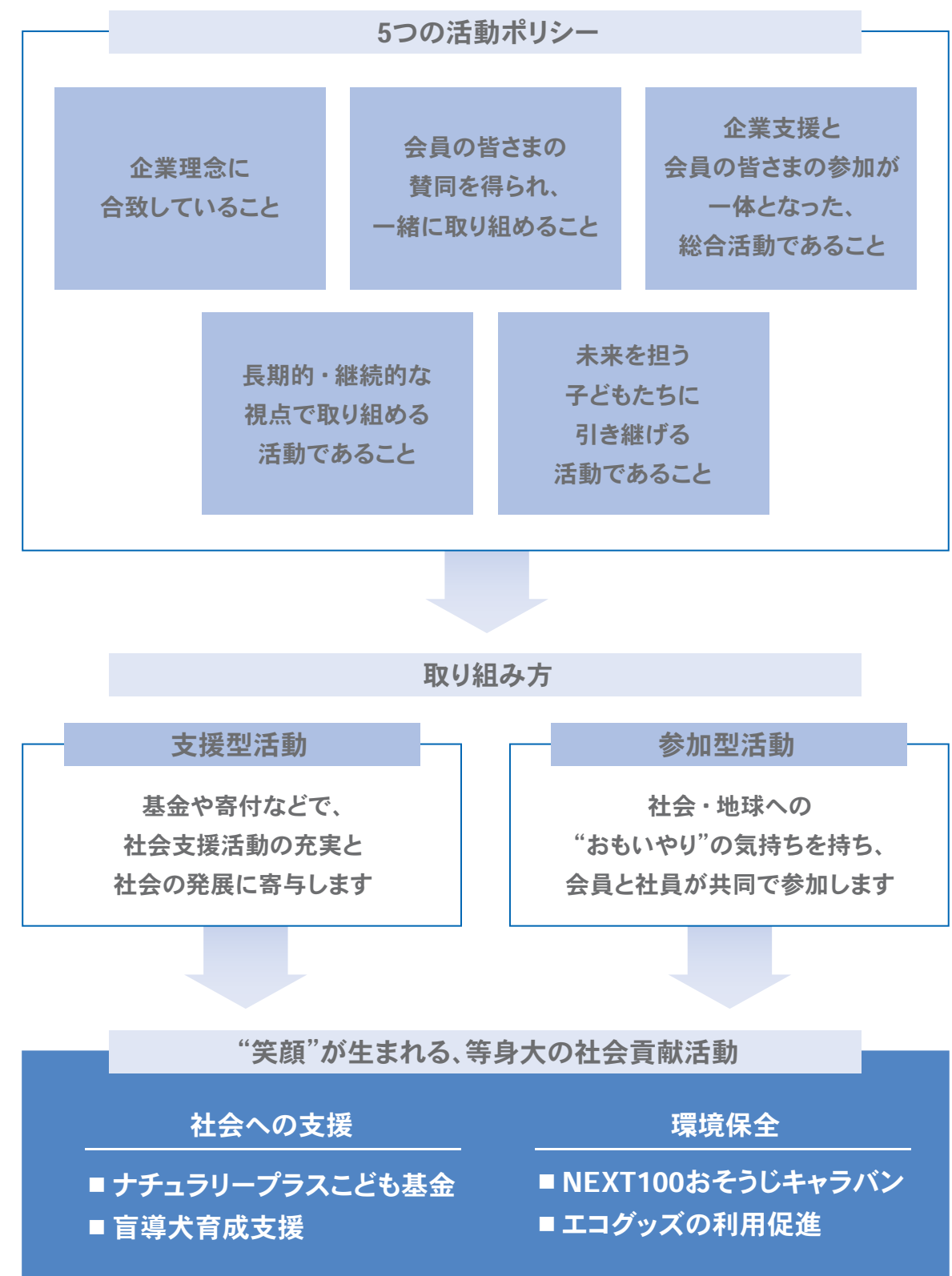
これまでも、そしてこれからも 地球・社会・未来のためにできること

私たちは、社会とつよい絆を築くために、会員の皆さまとともに、“等身大の社会貢献活動”を行っています。基金や寄付などの積極的な支援に加え、参加型の活動にも重点を置いています。常に会員の皆さまと力を合わせて、“笑顔”あふれる社会の実現に向けて取り組んでまいります。

NATURALLY PLUS
NEXT
100
未来をひらく
100年計画



ナチュラルプラス 社会貢献活動の仕組み



やりたいことがあるんだ。
ぼくの夢が、広がっていく。

たのしみにしていた
サマーキャンプで、
ライブを見た。
ギターもカッコよかったし、
ドラムもすごくて、
ボーカルは……あんな風に歌いたい！
今までのぼくの毎日は、
「これがしたい」なんて
考えたこともなかったし、
教えてくれる人もいなかった。
でも、今は違う。
話を聞いてくれる人が、そばにいる。
カッコいい大人になりたい。
はじめて、そう思えたんだ。

社会支援活動

ナチュラリープラスこども基金

原因不明の難病、いじめや虐待などで
苦しみ、悩む子どもたちがいます。私たち
は、すべての子どもたちが“笑顔”で過ごせ
るように、2008年9月『ナチュラリープラスこ
ども基金』を設立しました。基金の核となる
のは、製品に「100円」の寄付金が付いた
「こども基金商品」です。この製品のご購入

による寄付金とナチュラリープラスの拠出
金をあわせ、子どもたちを支援している各
団体へお送りしています。

現在は、数多くの皆さまが「こども基金
商品」にご賛同いただいたことにより、
子どもたちを“笑顔”にする活動の“輪”が
着実に広がっています。

こども基金商品

こども基金スーパー・ルテイン ボトルタイプ
11,600円【11,500円(税込) + 寄付金100円】

こども基金IZUMIO チアーバック
11,600円【11,500円(税込) + 寄付金100円】



200ml × 30パック入



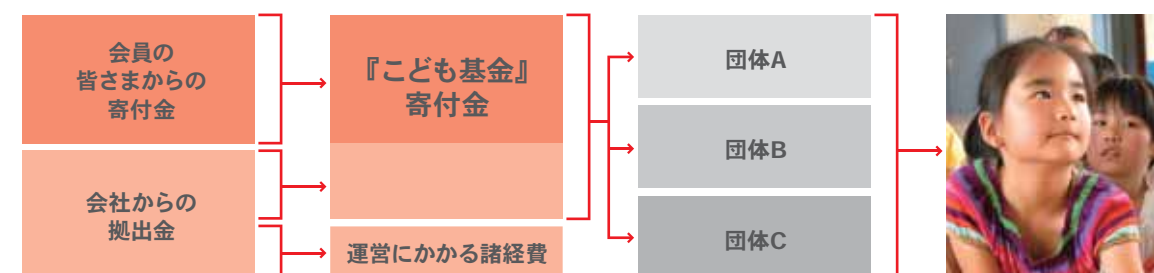
100粒入

こども基金 募金箱

東京・大阪・北海道・福岡の各サロンに
「こども基金 募金箱」を設置し、サロンを訪れ
た会員の皆さまに募金のご協力をいただい
ています。



『こども基金』寄付金の流れ



「こども基金商品」のご購
入やサロン募金など、会員の
皆さまからの寄付金が『こども基金』へ繰り入れ
られます。会社からも支
援金を拠出します。

会員の皆さまからの寄付
金は、子どもたちへの支援
活動のみを用途としてい
ます。『こども基金』運営に
かかる経費は、会社拠出
金の一部で賄います。

子どもたちを支援してい
る各団体へ寄付金を送り
ます。

“100円のおもしろい”が、
未来を担う子どもたちの
ための活動に役立てられ
ます。



社会支援活動／ナチュラループラスこども基金

僕らの世界が広がりました

～子どもたちの“笑顔”が生まれた数日間～

私たちは『こども基金』の活動の一環として会員の皆さまとともに、各団体の行事にもボランティア参加しています。子どもたちやご家族は、日常生活を離れ、やりたかったことにチャレンジしたり、今まで知らなかった世界を体験したり……。いっしょに笑った子どもたち、ご家族など多くの皆さまから「ありがとう」のメッセージをいただきました。

公益財団法人 日本盲導犬協会 主催行事

盲導犬の育成と視覚障がい者の社会参加を推進し、活動を行っています。実際に盲導犬と触れ合えるセミナーや体験会を行うことで、盲導犬の役割、必要性を伝えています。

「盲導犬学校キャラバン」

全国の小・中学校に同協会職員と盲導犬ユーザー、盲導犬が訪問し、実際に盲導犬の仕事を見ていただくことで、「街で目の不自由な人や盲導犬に出会ったらどうしたらいいのか」を学ぶ取り組みです。

開催場所：全国の小・中学校

開催日：2010年7月までに全国の小・中学校を中心に71校を訪問

「ワン!ぱくっ子サマースクールin仙台」

日本盲導犬協会の要請により、「盲導犬学校キャラバン」の締めくくりとして開催を支援。目の不自由な子どもとご家族を盲導犬仙台訓練センターに招待し、「コンビニでの買い物」「カヌー体験」「料理」などにチャレンジしました。

開催場所：宮城県仙台市日本盲導犬協会仙台訓練センター

開催日：2010年7月29日(木)～8月1日(日)

参加者数：22名(6家族、学生ボランティア含む)

笑顔の声

目の不自由な人と同じ感覚になる「アイマスク」体験は、光の全く入ってこない、今まで考えたこともない世界でした。**とにかくこわかった。**目の不自由な人をリードする「盲導犬」は絶対に必要だと思う。(学校キャラバン 参加児童・男子)

ひとりでおやつを買いに行ったよ。今日は自分で選べて本当にうれしかった。(サマースクール 参加児童・男子)

普段の生活では見たことのないような、“笑顔”をたくさん見ることができました。親としての私の心も、大きくリラックスさせてくれました。(サマースクール・40代母親)

娘はサマースクールから帰った後、料理を1人で作ってみたり、空手を習い始めたりと、新しいことに挑戦しています。「やりたいことをやってみよう」と自信をつけてきたようです。親の私たちの「できないだろう」という思い込みも、くつがえしてくれました。(サマースクール・30代母親)

認定NPO法人 難病のこども支援
全国ネットワーク 主催行事

原因が不明、治療法が確立されていないなどの難病や慢性疾患とたたかう20万人以上の子どもたちとその家族を支えています。

サマーキャンプ2010“がんばれ共和国”
黒潮おさかなキャンプ

難病の子どもとご家族が医療スタッフのバックアップのもと、「友だちつくろう」を合言葉に楽しい時間を過ごしました。

開催場所：ホテル三景園(静岡県焼津市)

開催日：2010年8月6日(金)～8日(日)

参加者数：148名(24家族、ボランティア61名)

笑顔の声

僕たちにとってキャンプは**“友だち”をつくる、とても大切な場所。**同じようにがんばっている仲間ができるので、とっても心強いです。(参加児童・男子)

私たちのことを知っていただく機会が『こども基金』の活動で増えるのは、とても有り難く思っています。ナチュラループラスからの支援は、家族のつながりだけになってしまいがちな私たち家族にとって新たな扉を開く良ききっかけになっています。(40代父親)

児童福祉NPO法人 子どもの村を設立する会 主催行事

育児放棄や虐待などで心に傷を負った子どもたちやそのご家族へのカウンセリング、児童虐待防止の啓蒙、子育て支援などに取り組んでいます。

「絆・自立の再生村づくり」～京丹波サマーキャンプ～

児童福祉施設「迦陵園(かりょうえん)」の子どもたち23名がたくさんの人と出会い、自然の中でのびのびと遊びました。

開催場所：子どもの村を設立する会・パイロットハウス(京都府船井郡京丹波町)

NPO法人 京都でてこいランド(京都府京丹波町)

開催日：2010年7月17日(土)～18日(日)

参加者数：70名(子ども23名、ボランティア)

笑顔の声

はじめてゆかたを着て、たくさんの星の下で花火をしたのが、楽しかった! また、来年もゆかたを着て、花火がしたい!(参加児童・女子)

運動場も遊び場もない狭い施設にいる子どもたちを、大自然の中でのびのび遊ばせることができました。何より子どもたちの表情がイキイキとしたこと。たとえ数日でも、この体験は本来の「子どもらしさ」を取り戻し、「しっかり生きる力をつける」ものだと思えました。(施設職員)

社会支援活動／ナチュラリープラスこども基金

ひとつの“おもいやり”が“笑顔”に

～『こども基金』社外理事・各団体メッセージ～

『ナチュラリープラスこども基金』は、会員の皆さまの“100円のおもいやり”で成り立っています。数多くの方々の“100円のおもいやり”が公正に管理・運営されるために設立された『こども基金』運営理事会と社外理事の方々、『こども基金』が支援している各団体の皆さまのメッセージをご紹介します。

『こども基金』運営理事会

『こども基金』は「ナチュラリープラスこども基金 運営理事会」が運営します。メンバーは理事長・理事で構成され、基金を公正に運営するため、社外理事にもご就任いただいています。運営理事報告会は、毎年1回、秋に実施し、『こども基金』の収支、活動の報告をしています。

理事長：名越隆昭(株式会社ナチュラリープラス 代表取締役社長)
理事：正木博之(取締役副社長)、鈴木隆之(常務取締役)
 村上秀都(取締役)、水野克裕(取締役)
社外理事：宇佐美覚了(社会教育家)、鈴木光司(作家)



『こども基金』社外理事 メッセージ

子どもを“笑顔”にする
「おもいやり」の気持ちを広げていきます

社会教育家 宇佐美覚了氏

子どもたちの“笑顔”があふれる社会をつくる『こども基金』の理念に共鳴し、今年も外部理事を務めることとなりました。「たった一日」のキャンプでも、子どもの心の財産になります。ナチュラリープラスを通して、「社会」から愛情をもらった経験は誰かに伝えたいくなるはずです。この「おもいやり」の気持ちが広がることを願ってやみません。

うさみかくりょう | 1937年三重県生まれ。社会教育家。理論と現実を重視し、子どもたちの「やる気と勇気」を育てる指導で評価が高い。社会文化功労賞受賞。「今日も！幸せありがとう」など著書多数。

『こども基金』がやるべきことは、
世の中の「光」を見せること

作家 鈴木光司氏

子育てをした経験から、子どもの未来を考える活動に貢献したいと考え、『こども基金』の運営を2期連続でお手伝いさせていただいています。世の中を変えるチャンスを与えられた人間、企業がやるべきことは、子どもたちに可能性や夢を見せてあげること。これからの『こども基金』は独自の企画が加わると、よりパワーアップできると期待しています。

すずきこうじ | 1957年静岡県生まれ。『楽園』で作家デビュー後、小説『リング』シリーズがベストセラーとなる。最新刊は長編小説『鋼鉄の叫び』。

『こども基金』支援先団体 メッセージ

認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク

子どもたちの“明日を生きる力”を
支えていただいています

専務理事 小林信秋氏

全国各地で行っている「がんばれ共和国キャンプ」は、希望者が多く「キャンセル待ち」の状態ですが、2009年度から『こども基金』のご支援により、開催地が1カ所増えました。深く感謝しております。難病で苦しむ子どもたち、その親、関係者が出会い、さまざまな想いを共有する貴重なひとときです。末永くご支援いただけたらうれしく思います。

児童福祉NPO法人 子どもの村を設立する会

『こども基金』の活動で、
傷ついた子どもたちが“笑顔”で未来に伸びています

名誉会長 山中康裕氏

ボランティアにも参加いただいた会員の皆さまが、子どもと真剣に向き合う姿は、子どもたちに強い絆、信頼となって心に刻まれています。大自然に包まれた出会いは、共に癒されています。このようなイベントは末永く継続してこそ意味があります。会員の皆さまとともにこのイベントを継続していただけたらと思います。今後もよろしくお願いいたします。

公益財団法人 日本盲導犬協会

“100円”の積み重ねが子どもたちの未来へ
踏み出す一歩を作り出しています

事業本部ゼネラルマネージャー 中村透氏

子どもたちのたくさんの“笑顔”が見られるのが、サマースクールの一番の魅力です。参加した子どもたちは、さまざまなことにチャレンジし、自分の可能性を再発見します。子どもたちの「明日への勇気」を支えていただいている「100円」の積み重ねは本当に大きなものです。今後ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

盲導犬がより身近になる社会の実現に向けて、
ともに歩んでいただいています

普及推進事業統括室 飯田篤史氏

「盲導犬学校キャラバン」は、生徒や保護者の方々に実際に盲導犬の仕事を見ていただき、街で目の不自由な人や盲導犬に出会ったらどうしたらいいかを知ってもらい取り組みです。盲導犬をより身近に感じ、目の不自由な人が暮らしやすい社会を実現したい。このような私たちの想いに賛同していただき、深く感謝しております。

社会支援活動

盲導犬育成支援活動

いっしょに歩けば、
よろこびは2倍になる。

現在、全国で約7,800人^{※1}が盲導犬を希望している状況に対し、実際に活躍している盲導犬はわずか1,070頭^{※2}。一頭でも多くの盲導犬育成が急務とされています。そのため、私たちは公益財団法人日本盲導犬協会の賛助会員として、盲導犬育成の支援活動、啓発活動を行っています。毎年実施している、「日本盲導犬協会訓練センター見学会」と「日本盲導犬協会セミナー」は盲導犬の必要性や、目の不自由な方々にどう力になれるかを理解し、学ぶ機会となっています。

2010年度は同協会の要請により、目の

不自由な子どもたちとそのご家族の宿泊研修「ワン!ぱくっ子サマースクール」を、『こども基金』と連動して支援しました。この研修は、目の不自由な子どもたちが盲導犬と触れ合い、さまざまな体験にチャレンジして、自分の可能性を発見することを目的としています。

目の不自由な方々とともに歩む「盲導犬」が身近にいる社会——私たちは、盲導犬の必要性を知ることから、おもいやりのある社会の実現が始まると考えています。

※1 1998年 日本財団調査による

※2 2010年 3月末現在 日盲社協調査による

日本盲導犬協会訓練センター見学会 『夏休み親子体験DAY』

会員の方とそのご家族を日本盲導犬協会の訓練センター2カ所にご招待し、盲導犬の訓練の様子を見学しました。

開催日：2010年7月25日(日)仙台訓練センター
2010年8月 1日(日)神奈川訓練センター

日本盲導犬協会セミナー

全国の各サロンに盲導犬と盲導犬ユーザーをゲストにお迎えし、皆さまに盲導犬に対するご理解を深めていただくセミナーを実施いたしました。

開催日：2010年7月10日(土)大阪サロン 32名
2010年7月17日(土)北海道サロン 57名
2010年7月24日(土)福岡サロン 36名

ロッキー[※]といっしょに
歩くようになって、
外出の楽しみが2倍になった。
歩行訓練は思ったより大変だったけど、
目的地に着いたとき、
ロッキーもうれしそうだった。
息づかいや体温、そしてハーネスを通して、
お互いの気持ちがわかる。
ロッキー、これからいろんな所へ行きたいね。

※盲導犬の名前



きらきらひかる河とともに。

私は毎朝、愛犬の散歩がてら河川敷を掃除している。
私をリフレッシュさせてくれる河に
“ありがとう”の気持ちをこめて。
ある日曜の朝、私と同じように
河川敷を掃除する人たちに会った。
特に言葉は交わさなかったけれど、
目が合うとお互い、笑みがこぼれた。
河にやってくる真っ白な水鳥、
気持ちよく泳ぐ魚や茂みにいる小さな虫たちも
きれいになった河に集まってきている。
きらきらひかる河を見つめて、みんな、ほほえんでいる。
掃除するあの人たちも、
河とともに生きている鳥や魚や小さな虫たちも。

環境保全活動

ナチュラリープラス『NEXT100』 おそうじキャラバン

「おそうじキャラバン」は、全国各地の
会員の皆さまとナチュラリープラスの社員
による清掃活動です。生活の場である地
域の美観を保つことで環境の保全を図り、
「100年先まで必要とされる」企業になるた
めに取り組んでいます。

この「おそうじキャラバン」では、子どもか
ら大人まで、参加者全員が『NEXT100』

のロゴ入りTシャツを着用し、グループごと
にゴミを拾います。道行く人から感謝の声
をいただくこともあり、会員の皆さまのみな
らず、その地域に住む方々の参加も増え、
大きなボランティア活動となっています。

今後も私たちは、会員の皆さまとともに日
本各地の清掃を行うことで、地域の環境を
保全し、人々の“笑顔”を広げてまいります。

『NEXT100』おそうじキャラバン in 東京

多摩川の下流にある丸子橋からガス橋にかけて、約2.5kmの多摩川河川敷を清掃しました。当日は、関東ブロックの会員の皆さまとご家族、本社スタッフを含めた総勢385名が参加。一見、ゴミがないように見えた川沿いも、タバコの吸い殻や空き缶、ペットボトル等が散乱していました。1時間半あまりの作業で、ゴミ袋(90リットル入り)計26袋のゴミを収集しました。

開催日：2010年6月5日(土) 多摩川河川敷 385名 約26袋(90リットル入りゴミ袋)



社会貢献活動 沿革

“笑顔”とともに～これまでのあゆみ

- 2005.07 ■「第2回盲導犬チャリティ LPGAエバグリーンゴルフカップ」への協賛
- .08 ■特定非営利活動法人 ギニア日本交流協会への支援開始
- .09 ■ギニア共和国・ポッファ市への学校建設開始



- .10 ■「第13回富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
- 2006.01 ■ナチュラープラス 社会貢献ポリシーの発表、参加型支援活動開始
- .07 ■大阪、福岡サロンにて「財団法人 日本盲導犬協会セミナー」開催
- 東京、北海道サロンにて「ナチュラープラスの森説明会＆自然観察会」開催



全国4カ所のサロン近郊で自然観察会開催

- 財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて「盲導犬訓練センター子供体験DAY」開催
- .08 ■東京、北海道サロンにて「財団法人 日本盲導犬協会セミナー」開催
- 「Japan Festival 2006 in Vietnam」への協賛
- .09 ■大阪、福岡サロンにて「ナチュラープラスの森説明会＆自然観察会」「財団法人 日本盲導犬協会セミナー」開催
- 「第14回富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
- .10 ■「第3回盲導犬チャリティ LPGAエバグリーンゴルフカップ」への協賛
- .12 ■東京、北海道サロンにて「財団法人 日本盲導犬協会セミナー」開催
- 2007.01 ■財団法人 日本盲導犬協会およびNPO法人 バードライフ・アジアへ、会員から寄せられた募金総額(2006年度分)を贈呈
- .03 ■大阪、福岡サロンにて「財団法人 日本盲導犬協会セミナー」開催
- .04 ■東京、北海道サロンにて「財団法人 日本盲導犬協会セミナー」開催
- 日本盲導犬総合センター「盲導犬の里 富士ハーネス」見学会開催
- .05 ■油山自然観察の森(福岡)、大阪南港野鳥園(大阪)にて「自然観察会」開催
- .06 ■新宿御苑(東京)にて「自然観察会」開催
- .08 ■北海道サロンにて「財団法人 日本盲導犬協会セミナー」開催
- .09 ■「第15回富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛

.11 ナチュラープラスの森候補地の決定



地元のレンジャーに守られる「ナチュラープラスの森」

- 「ナチュラープラスカップ 第1回視覚障害者ゴルフ大会」への特別協賛
- 2008.02 ■財団法人 日本盲導犬協会およびNPO法人 バードライフ・アジアへ、会員から寄せられた募金総額(2007年度分)を贈呈
- .04 ■『NEXT100』発表
- .06 ■ミャンマー・サイクロンおよび中国・四川大地震被災地に義援金送付
- 大阪、北海道、福岡サロンにて「財団法人 日本盲導犬協会セミナー」開催
- .07 ■『ナチュラープラスこども基金』発表
- 静岡県沼津市にて「ナチュラープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 岩手・宮城内陸地震被災地に義援金送付
- 日本盲導犬総合センター 盲導犬の里 富士ハーネスにて「夏休み親子体験DAY」開催
- .08 ■財団法人 日本盲導犬協会 仙台、神奈川訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催
- .09 ■『ナチュラープラスこども基金』開始
- 「第16回富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
- 「ベトナムフェスティバル2008」への協賛
- 『ナチュラープラスこども基金』より、NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」へ支援開始
- .12 ■沖縄県那覇市にて「ナチュラープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 2009.02 ■財団法人 日本盲導犬協会へ、会員から寄せられた募金総額(2008年度分)を贈呈
- .04 ■『ナチュラープラスこども基金』より、児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」へ支援開始
- .05 ■大阪府大阪市にて「ナチュラープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- .06 ■大阪、北海道、福岡サロンにて「財団法人 日本盲導犬協会セミナー」開催
- 『ナチュラープラスこども基金』支援により2009年「盲導犬学校キャラバン」開始
- 北海道札幌市にて「ナチュラープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- .07 ■財団法人 日本盲導犬協会 仙台訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催
- .08 ■財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催

- 『ナチュラープラスこども基金』より、児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」主催研修「親子で1日ほっこりしましょう」を支援
- 『ナチュラープラスこども基金』より、NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催「がんばれ共和国 富士山キャンプ」を支援
- .09 ■「第17回富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
- .10 ■「ガルーダ・パリ国際マラソン2009」への協賛



- .11 ■宮城県松島町にて「ナチュラープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- .12 ■香川県高松市にて「ナチュラープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 2010.01 ■『ナチュラープラスこども基金』支援により2010年「盲導犬学校キャラバン」開始

- .06 ■東京都大田区にて「ナチュラープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- .07 ■大阪、北海道、福岡サロンにて「財団法人 日本盲導犬協会セミナー」開催
- 『ナチュラープラスこども基金』より、児童福祉NPO法人「子どもの村を設立する会」主催研修「絆・自立の再生村づくり」を支援
- 財団法人 日本盲導犬協会 仙台訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催
- 『ナチュラープラスこども基金』より、財団法人 日本盲導犬協会主催3泊4日研修 全盲児童自立支援プログラム「ワン! ぱくっ子サマースクールin 仙台」を支援
- .08 ■財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて「夏休み親子体験DAY」開催
- 『ナチュラープラスこども基金』より、認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催「がんばれ共和国 黒潮おさかなキャンプ」を支援
- .09 ■「第18回富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
- 2011.01 ■社会福祉法人「東京ヘレン・ケラー協会」主催 創立60周年記念チャリティー「ハッピー 60thコンサート」への特別協賛

私たちが考える“笑顔”あふれる社会、その実現に向けて走り続けてまいります

2010年夏に行われた『こども基金』が支援するサマーキャンプにボランティアとして参加された会員さんより、次のようなお言葉をいただきました。

—— 子どもたちが“笑顔”になるたびに“100円”の重みを感じました。来年も遊ぶ約束をしたので、『こども基金』の活動をずっと続けていきたいです。

ナチュラープラスの社会貢献活動は7年目を迎え、会員の皆さまの“おもしろい”に支えられていることを実感しております。私たちの支援活動の積み重ねが社会に根付いていくことを信じてやみません。

人から人へ——。ナチュラープラスのヒューマンネットワークをかし、多くの方々への“おもしろい”の気持ちを日々積み重ね、“笑顔”あふれる社会の実現に向けて、これからも走り続けてまいります。



株式会社ナチュラープラス 代表取締役社長

名越 隆昭